

—夢・大地 みんなが愛する水の里—



2017

第48号

2月1日

# とめ 市議会だより

青年部



「無病息災を願って」  
(佐沼どんと祭 裸参り)

### 目次

指定管理者の指定 .....	2
常任委員会報告 .....	10
ここが聞きたい(一般質問) .....	14

# 新たに3施設を指定管理に

(道の駅三滝堂、長沼フットピア公園、東和総合運動公園)

## 地域活性化に期待 道の駅 三滝堂 4月1日オープン



オープンに向け建設工事が進む 道の駅「三滝堂」

12月定期議会は、12月1日から14日までの14日間の日程で開かれました。  
本定期議会では、指定管理者の指定や条例の制定・廃止・一部改正、各種会計補正予算など33件、意見書3件を審議。指定管理者の指定1件を否決し、その他は原案のとおり可決しました。  
なお、一般質問には、16人の議員が登壇し、市長にその考えをたずねました。

### ◆指定管理者の指定

各施設を管理する法人、その他の団体を指定するもの。

道の駅 三滝堂地域活性化施設(新規)

・指定管理者

(株)みやぎ東和開発公社

・指定期間

平成29年4月1日から

平成32年3月31日まで

・指定管理料

3618万円(3年間)

指定管理者は既に道の駅(林林館・森の茶屋)を運営

している。

市内全域の特産品等を販売するための巡回集荷システムを構築しており、利用者の利便性の向上と地域振興につながる効果的な運営に期待が持てる。

長沼フットピア公園(新規)

・指定管理者

長沼ふるさと物産(株)

・指定期間

平成29年4月1日から

平成32年3月31日まで

・指定管理料

5234万円(3年間)

◎ 長沼フットピア公園のシンボルともいえるオランダ風車の回る日数が少ない。指定管理者との間でどのような協議をしているのか。  
A 現在風車を回すノウハウを持つ技術者が一人で体的に不十分なことから、今後、複数体制で伝承し、継続的に稼働できるように連携調整し取り組んでいく。

東和総合運動公園(新規)

・指定管理者

錦織地域振興会

・指定期間

平成29年4月1日から

平成32年3月31日まで

・指定管理料

3624万円(3年間)

◎ 東和総合運動公園の人工芝で、夏場50度以上の温度になったことがあり、靴底の破損があった。散水装置等の対策の必要はないか。  
A 昨年の夏、ソフトボール大会で、4人の靴底が剥がれたと聞いている。その後は特にない状況なのでもう少し様子を見たいと考えている。

高倉勝子美術館  
指定管理者を変更(株)とよま振興公社  
・指定期間  
平成29年4月1日から  
平成34年3月31日まで

既に指定管理者は、とよま観光物産センターや歴史資料館などを運営している。美術館の利用者数が低迷している中、共通入館券の導入など利用者数の増加に期待できる。



東和総合運動公園



高倉勝子美術館

新規・継続 16施設を指定管理に(平成29年4月1日～)

施設名	指定管理者	期間	新・継
1 中田農産物直売所、中田農産物加工所	協同組合産直なかだ愛菜館	5年	継続
2 長沼フットピア公園	長沼ふるさと物産株式会社	3年	新規
3 登米総合体育館、登米総合運動公園、登米武道館	とよまスポーツクラブ蔵っこ	5年	継続
4 米山体育館、吉田運動場、中津山運動場	よねやまスポーツクラブ	5年	継続
5 南方武道伝承館、南方総合運動場、南方中央運動広場	～いきいき健康づくり～ スポーツクラブみなみかた	5年	継続
6 東和総合運動公園	錦織地域振興会	3年	新規
7 高倉勝子美術館	株式会社とよま振興公社	5年	継続
8 児童発達支援センターこじか園	社会福祉法人恵泉会	5年	継続
9 道の駅三滝堂地域活性化施設	株式会社みやぎ東和開発公社	3年	新規

# 迫にぎわいセンター 指定管理者の指定を否決 今後の方向性は



## 反対

にぎわいセンターの目的は、商店街の振興や地域の振興、これが一番のメインであり、本市の中で唯一の特別な施設だと思ふ。しかし最近、集会所や生涯学習施設としての活用が多くなり、特別の部分が少し薄れてきたように思ふ。今までの延長として施設を維持するのではなく、新しい「にぎわいセンター」としてスタートを切るくらいのつもりで、管理も含めてやり直し、商業振興、商店街振興はどう

あるべきかなど、特別の意味があるものにする必要があるのではないかと。それぞれ地域の中では、集会所は管理委託化、無償貸し付け、無償譲渡されている。そうした生涯学習施設等との整合性の観点からも、より良い地域振興、産業振興に役立てていただきたいとの思いから反対する。

中澤 宏議員

今回、5年間の指定管理をする件について、今のままでいいのかということ、一番考えるところだ。

市内各地域では、公民館が指定管理になり、各町域にスポーツクラブができた。

にぎわいセンターの利用を見ると、公民館事業とほとんど類似しており、スポーツクラブでも賄えるような実態がある。

その利用形態をより良い方向に向けるため、この商店街の発展のため、別の角度で考える時ではないか。

岩淵正宏議員

## 討論 (迫にぎわいセンター指定管理)

### 迫にぎわいセンター

Q 公民館類似施設であるが、選定理由の中に、集会所としても利用されるとある。集会所の適正化推進計画には入っているのか。

A 集会所適正化推進計画は町内会などと協議し、無償譲渡を進める計画だが、迫にぎわいセンターは、商店街の振興と地域経済の健全な発展に資するために設置されたものであり、対象施設になっていない。

Q 商店街の振興に関わる事業とは、どのようなものがあるのか。

A 毎年「豊年かかしまつり」を開催している。また、「沼夏まつり」、「冬のどんと祭」などを共催している。

Q 指定管理をしている施設で同様の施設は他にあるのか。

A 商店街の振興、地域経済の健全な発展という設置目的を掲げている施設は、他にはない。

Q 指定管理期間を5年とせず、3年位とし、経緯を見守る必要があるのではないか。

A 新規施設の場合は3年、更新の場合は5年としている。迫にぎわいセンターは、更新施設であり、5年とした。

Q 年間約1500件、9000人の利用状況であるが、町外、地域外の利用はどの程度か。

A 相当数あることは間違いない。

Q 指定管理なしで、現在の事業や目的を達成できるのか。

A 目的に沿った指定管理をお願いしていることから、厳しいと考える。

Q 常勤職員が1名いる。FM局の利用やホームページの開設など、もっと積極的にPRすべきではないか。

A 商店街活性化のため、コミュニティFMとの連携やホームページを作成して情報発信をし、新たな利用者の拡大に取り組みたい。

## 賛成

迫にぎわいセンターは、左沼の一市、八日町通り（大通り商店街）に位置しており、人を集めるための施設と思ふ。それを受けてくれるのが、左沼大通商店街協同組合の方たちである。施設を運営し、さまざまなイベントも行っている。利用する方は地元ばかりではなく、他からも来ており

活性化が見込まれる。にぎわいを取り戻すという意味では、指定管理を大通り商店街に任せることで、より良い集客施設、地元の活性化、そして大通り商店街の活性化につながるの思いから賛成する。

相澤吉悦議員

質疑では、減免が規則の定めるところに沿っているか、町のにぎわいを取り戻すということも、そうした活動を実際やっているかなど、厳しい指摘が出された。それらすべてを否定するものではない。深く受け止め、事業者は今後、誠心誠意頑張っていたかなくてはならないと思ふ。

一方、一市、八日町の限られた狭い地域ではなく、市内外に広く活用されている施設である。年間1519件、9169人の利用実態は少なくない。夏祭りやどんと祭、か

かし祭りなどの大きなイベントにも活用されている。この利用実態からしても、欠かさない施設になっていると思ふ。指定管理料をどう捉えるかという点では、地域内外にとつて、名ばかりというくらい厳しい状況ではあるが、大きく言えば登米市の中心商店街、その中にある施設として維持管理をし、頑張っていた点でいう点での指定管理料であり、妥当と考える。

佐藤恵喜議員

一般会計

登米フードフェスティバル  
開催業務委託料  
132万円

4月に開催していた東北風土マラソンが、3月開催に変更される。同時開催とすることで交流人口の拡大を図るもの。

4月に開催されていた東北風土マラソンが、年度内の3月開催に変更になった。その理由は、

震災復興のためのイベントとしてスタートしたが、3年が経過し薄れてきたという思いが実行委員会の中にあり、もう一度、震災復興という意味合いを出していきたいとのことである。

東北風土マラソンと市の関わり合いは、

市が開催してきたフード博覧会に、後から東北風土マラソンが加わり実施してきた。今ではマラソンの方が大きなイベントとなっているが、ど



2016 東北風土マラソン (長沼)

ちらも「食」をテーマにしており、さらなる誘客を図るため一体的に取り組んでいる。

幼保連携型認定こども園等  
施設整備支援事業  
1693万円

民間事業者の初期投資を軽減し、持続的な教育・保育の提供と待機児童の解消を図るもの。

認定こども園(さくら幼稚園)の開園が29年4月1日となっている。工事の進捗は、

工事契約

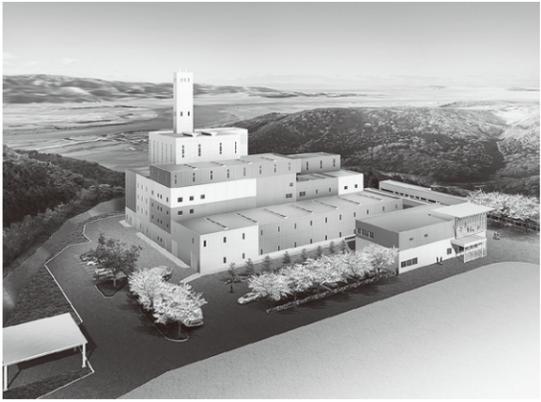
(仮称)新クリーンセンター  
建設工事の請負契約の締結

既存の一般廃棄物処理施設「クリーンセンター」は供用開始から27年が経過し、老朽化が著しく既存の施設を活動しながら新たな用地に新クリーンセンターを建設するもの。

・契約金額  
98億9820万円

・契約の相手  
JFEエンジニアリング株

・工期  
31年11月30日



イメージ図

工期の設定が2月28日までとなっている。現在は内装工事の段階であり、予定通りに進んでいる。

農地情報公開システム端末  
機器購入  
26万円

農地法により農地管理データをインターネット上で公開することが規定されている。データ更新作業などに係る端末を購入するもの。

農業委員会の農地情報開示システムの端末機器をパソコンアップし、インターネット公開するというが、どの程度の公開になるのか。

「農地ナビ」として既にインターネット上で農地管理データの一部は公開している。今回は、データ修正をし易くするためのバージョンアップに係る補正である。

・処理能力  
70ト/日  
(35ト/日×2炉)

・処理方式 ストリーカ方式  
・形式 全連続燃焼式  
(24時間運転)

契約金が約100億円になるのに随意契約した考え方は、

再度業者を募集した場合、契約までさらに1年間要すること。また、応募の段階で1社しかなかったため総合的に判断した。

総合評価方式で参加者が限られることはないか。

下水道事業特別会計

公共下水道大東地区雨水  
対策事業  
1320万円

佐沼大東地区の雨水対策事業の見直しに当たり、雨水排水基本設計、排水路現況調査を行うもの。

佐沼大東地区の雨水対策事業が、地下貯留地方式では難しくなり計画が見直しされた。諦めたのか。また、これまでの経緯と今後の整備の方向性を住民に説明すべきではないか。

整備を中断するのではなく、全体的な見直しの概要などについて検討しており集中的に取り組み早急に対応していきたい。年度内には地域住民を対象に説明会を開きたいと考えている。

これまで大東地区の雨水対策には測量設計費用など、さまざまな対策のために千数百万円は計上してきている。計画の見直しで無駄になるのか。



2013年7月の豪雨時のようす

現地の測量や土質調査、仮設設備の検討などは、今後の見直した計画に活かせる。全てが無駄ということではない。

佐沼大東地区の雨水排水には長沼川の整備が大きな効果を上けると考える。管理者である県への働きかけを強くすべきでは。

長沼川の整備は現在、放水路区間を整備中であり、迫川へ強制排水させるポンプも設置される予定である。おおむね5年を目途に放水路区間を整備する計画だが、できるだけ早く整備するよう要望活動をしている。

【契約金額】

・変更後 12億2008万円  
・変更前 11億8692万円

通行止めの期間延長は、いつまでか。

最終工期が3月15日であり、同日までお願いしたいと考えている。

通行止めの期間が延長になった理由は、

大洞9号線内に敷設する公共下水道工事の入札が2回不調となり、工期が29年2月28日までとなったことが影響した。

(仮称)長沼第二工業団地造成  
工事の工事請負契約の変更

造成工事、道路工事それぞれに変更が生じた。造成工事では、伐採工、土工、用水路工など1840万円の増額。道路工事では、土工、舗装工など1470万円の増額で、合わせて3316万円の増額となるもの。

工業団地の全体単価と売り払い単価は。また、近隣と比べるとどうなるか。

平米あたりで全体単価は1万2000円、売り払い単価は1万円となる。築館インター工業団地の売り払い単価は8800円である。

企業誘致の状況は。2社と情報交換している。

農業委員会の委員等の定数を定める条例の制定

農業委員の選出方法が公選制から市長の選任制に変更、および農地利用最適化推進委員が新設されたもの。

企業立地促進条例の一部改正

新たな工業団地の整備完了に伴い、早期に奨励金制度を拡充し、立地に向けた企業誘致活動の促進を図るもの。

職員給与に関する条例の一部改正

人事院勧告に基づく国家公務員の一般職の給与改定に伴い、必要の改正を行うもの。

（起立多数で原案可決）

が下がり生活費をやりくりしている人に人事院勧告は適用されない。市民の厳しい暮らしの実態などから、総合的に判断し反対する。 佐藤 恵喜 議員

農業委員の地域バランスは必要と思うが、法的に難しいなら工夫はできないか。 調整はできないが、地域バランスがとれればと思う。

近隣と平準化する奨励金の制度設計だけでなく、企業誘致全体のプログラムをつくるべきでは。

進出企業からは、どこが一番有利なのかと他市町と比較されるので、見劣りしない制度設計をした。基本的スタンスの下で企業誘致を進める。 今後の工業団地の進め方は。

農地利用最適化の推進委員の連携会議の設置の狙いは。 農地利用最適化の情報共有のために設置。

土質により造成費が高くなる場合もあるので、場所などの選定に注意して当たっていく。

特別職の給与及び旅費に関する条例の一部改正

- ①民間給与との格差に基づき給料表全体で平均0・2%引き上げる。
②勤勉手当を0・1月分引き上げる。
③扶養手当を29年度から段階的に配偶者分を引き下げ、子ども分を引き上げる。
④介護休暇を分割取得できることと、介護時間を新設する。

人事院勧告に基づき特別職の給与が改正されることを踏まえ、議員の期末手当の支給割合を0・1月分引き上げるもの。 議員の報酬、費用弁償及び期末手当に関する条例の一部改正

選考委員会を設けて、透明性を確保しながら選考する。 建議の取り組みを強める必要があるのでは。 建議に近い形を検討する。

委員等と意見交換を行った。今、現場で問題になっていることを発信するスタートにしたいので、賛成である。

人事院勧告に基づく一般職の国家公務員の給与改定に合わせ期末手当の支給割合を0・1月分引き上げるもの。

特別職の給与に関する条例の一部改正

本市は社会保障の負担増などで格差の拡大、貧困の広がりがある地域である。一般職と違い特別職、議員は人事院勧告に従わなければならないということではなく、総合的に判断をして期末手当の引き上げに反対する。 佐藤 恵喜 議員



工事が始まった(仮称)登米インター工業団地(登米蛭沢地区)

12月定期議会では、意見書3件が議員提案されました。審議の結果、3件すべてが本会議で可決され、関係機関へ提出しました。

意見書

「高額療養費」「後期高齢者の窓口負担」等患者負担の見直しの慎重審議と現行制度の継続を求める意見書

患者の負担増は多くの国民を医療から遠ざけ、高齢者の生活基盤を圧迫することから、受診抑制を招かないようにするため、患者負担の見直しの慎重審議と現行制度の継続を求めるもの。

賛成 委員会として何度も農業委員会等と意見交換を行った。今、現場で問題になっていることを発信するスタートにしたいので、賛成である。 佐々木幸一 議員

最低賃金の改善と中小企業支援の拡充を求める意見書

農業委員会新体制の改善を求めることについては賛成したいが、文言の中で、定数や集積率など整合性がとれない部分が多い。したがって再提案をすべきと考え、反対する。

反対 農業委員会新体制の改善を求めることについては賛成したいが、文言の中で、定数や集積率など整合性がとれない部分が多い。したがって再提案をすべきと考え、反対する。 田口 政信 議員

討論

政府は、中小零細企業への支援を拡充しながら最低賃金を引き上げ、誰もが安心して暮らせる社会をつくる必要がある。よって、早期実現を求めるもの。

農業委員会新体制の改善を求めることについては賛成したいが、文言の中で、定数や集積率など整合性がとれない部分が多い。したがって再提案をすべきと考え、反対する。 田口 政信 議員



農業委員会新体制意見書の起立採決

平成28年定例会12月定期議会での審議結果(意見が分かれた議案について掲載しました)

Table with columns for Member Name, Proposal Name, Decision Result, and Voting Record (賛成/反対/欠席) for various council members.

※採決結果欄 ○…賛成 ×…反対 欠…欠席 議…議長のため表決に加わらない

# 総務企画常任委員会

## 意見交換会で見えた コミュニティ団体の 実情と課題



さまざまな意見が出されました（中田農村環境改善センター）

### ○協働のまちづくり事業について の意見交換会を実施

（11月18日調査）

本市では24年度に「登米市まちづくり基本条例」を策定、25年度・26年度には各コミュニティが「地域づくり計画」を策定。また、27年度からは「がんばる地域づくり応援交付金」を創設するとともに各コミュニティ団体に集落支援員を一名配置しながら協働のまちづくりが進められている。

しかし、地域づくり計画を進める中で、さまざまな問題・課題が浮かび上がるなど「コミュニティの地域格差」が見られるのではないかとという意見もあることから、各コミュニティ団体との意見交換会を実施し現状と課題の把握。また、多くの意見や提言をいただいた。

### 「協働のまちづくり」

市民レベルではまだまだ理解不足であり、認知度も低いので市民に対してもっと分かりやすい説明が必要である。

### 「活動事業」

イベント型事業が多くマンネリ化の傾向にある。参加者の固定化や参加率の低さなども課題であり、市としての支援体制のあり方も考える時期にきていると感じた。

### 「組織体制」

高齢化による人材不足、役員などの担い手不足が課題である。次の世代へつなぐため、市として取り組める「地域担当職員制度」などの新たな支援体制による人材育成が必要だと考える。

### 「集落支援員」

21コミュニティに一人ずつ配置されているが、本来業務であるべき「地域課題・集落課題の掘り起し」が見えない。支援員の育成とスキルアップが重要である。

### 「コミュニティ担当窓口」

各関係部局、とめ市民活動プラザなど窓口は多いが連携不足が感じられ不満も発生している。今後は総合窓口の一本化を検討すべきであり、市としての「協働」の全体政策



アルテラスおおみ（佐沼大網地区）

の見える化が必要である。

### その他の調査項目

- ・集落施設適正化計画
- ・名誉市民条例について
- ・JR気仙沼線（柳津～陸前戸倉駅間）における経過等
- ・意見交換会時の意見・要望
- ・27年度決算について
- ・登米市公共施設等総合管理計画（案）について
- ・提言書について

# 教育民生常任委員会

## 「ボートのまち」を 自負できる取り組みを



とめ漕艇協会関係者と意見交換

### ○（仮称）登米認定こども園 建設用地に係る現地調査

（9月7日現地調査）

取得用地の形状などを確認するため現地調査を行った結果、「園舎への入り口は交差点に近く、送迎時の安全性に不安がある」「園舎北側に排水路があり、安全対策が必要である」「土地が正形でなく、安全性に不安がある」などの意見が出された。

一方、「当初は事業者において用地取得交渉を進めてきた経緯から、予定地以外の用地取得は困難」との意見も出された。

「28年度中に着工しなければならぬという時間的制約もあり、現地を選択した」としているが、市が取得する以上、安全性は最優先しなければならぬ。

### ○施設整備事業の進捗状況を調査

（9月12日調査）

▽新登米懐古館整備事業  
新登米懐古館建設及び展示

### 「活動事業」

イベント型事業が多くマンネリ化の傾向にある。参加者の固定化や参加率の低さなども課題であり、市としての支援体制のあり方も考える時期にきていると感じた。

### 「組織体制」

高齢化による人材不足、役員などの担い手不足が課題である。次の世代へつなぐため、市として取り組める「地域担当職員制度」などの新たな支援体制による人材育成が必要だと考える。

### 「集落支援員」

21コミュニティに一人ずつ配置されているが、本来業務であるべき「地域課題・集落課題の掘り起し」が見えない。支援員の育成とスキルアップが重要である。

### 「コミュニティ担当窓口」

各関係部局、とめ市民活動プラザなど窓口は多いが連携不足が感じられ不満も発生している。今後は総合窓口の一本化を検討すべきであり、市としての「協働」の全体政策

設計事業について、公募型プロポーザルにより、㈱隈研吾建築都市設計事務所が選定された。審査では、12項目について評価がなされ「特色のある企画」のうち「獨創性」の項目が一番評価が高く、自然素材を用いた環境に優しい建設をコンセプトに、「とよまスレート」の再利用、市の木質化指針も理解の上で提案された。

また、登米の街並み特有の「<sup>かきま</sup>鉤曲がり小路」を施設内に考慮するとしている。

登米に整備する意義は、「観光拠点施設」の整備目的もあるが、新懐古館そのものが将来、文化財となりうる施設整備を図ることである。

市民会議など、早い段階で意見が反映され、よりよい施設整備がなされるよう、引き続き調査を継続していく。

### ○とめ漕艇協会関係者との意見交換

（10月24日調査）

現在、とめ漕艇協会の会員



長沼ボート場スタート施設

は40名いるが、高齢化になっている。これまで海洋センターを核として、子どもたちが水辺スポーツに親しんできたが、ここ数年、職員の常駐配置もなくなり、ボート競技へとつながる海洋クラブが活動を休止していることが課題である。

今回の競技場見直しを契機に、不足する施設整備を図り、何よりも多くの市民が水辺スポーツに親しみ、市民が「ボートのまち」を自負できる取り組みを期待したい。

# 産業建設常任委員会

## 農業委員会新体制に 関し、意見書を提出



農業委員会役員と意見交換

### ○農業委員会新体制について

(9月12日、10月28日、11月14日・24日調査)  
農業委員会に関する法律の改正により、現在の農業委員体制は29年7月24日以降大きく変わる。中でも、農業委員と推進委員の業務区分、農地集積率、農業委員報酬額、委員の選考方法の4点について調査を重ねたほか、農業委員会役員との意見交換会を実施した。

### ○登米地域商工連絡協議会と商工懇談会

(10月28日調査)  
小規模事業支援法が改正されたことに伴い、市内3商工会と当該条例制定について意見交換会を実施。27年7月、宮城県においても条例が施行

されたが、本市は商工観光振興計画を策定している。条例制定が効果的な支援につながるのか、さらに調査が必要。  
**○長沼川改修事業計画、追町佐沼大東地区排水事業**  
(11月7日調査)

長沼川排水樋門完成に伴い現在は放水路区間1400mを重点区間とし、国の交付金に加え県単独費も投入し、事業が進められている。

### ○産業振興会との意見交換

(11月7日調査)  
昨年に続き意見交換会を実施した。産業振興会からは企業誘致の優遇制度に特化したない、既存の幅広い業種への優遇制度の設定と、若者の定住・



長沼川排水樋門を調査

移住対策として個人への助成金制度の創設を提案された。提案内容の実現性について調査・検討していきたい。

また、新卒者が進学および就職を含め、市外へ出る傾向が強くなっていることに危機感を感じる。本市が持続的に発展し続けるためにも、互いに知恵を出し合い、産業振興と移住・定住を結び付けていくことが必要と考える。

## 議会改革推進会議 行政視察報告

平成28年11月21～22日

「事務事業評価」について  
長野県大町市議会・群馬県板倉町議会

本市議会は、24年4月1日に議会基本条例を施行。以来、市民福祉の向上及び市政の発展に寄与するため議会改革を推進してきた。

結果、議会改革度ランキングで、全国41位(27年)となり、県内市町村ではトップである。今回は、特に執行機関を監視評価するという議会本来の果たすべき責務の強化と、より住みやすいまちづくりと市のさらなる発展を目指し、積極的に事務事業評価を実施している2市町を調査した。

大町市は、常任委員会と分科会を設置、5～6事業をピックアップし、事業評価を行っている。

板倉町は、予算決算常任委員会で、1議員1事業(12事業)を選定し、実施している。

両市とも評価シートにより、項目評価を実施。点数評価並びに合議評価を行い「見直し」、「改善」、「拡充」など、提言を含めた事業評価を実施しており、確かな成果を上げていた。本市議会としても、早急な取り組みに向け議会改革を進めていきたい。

## 庁舎建設に関する調査特別委員会 中間報告(12月定期議会)

### 活動経過

27年1月に「新庁舎建設基本構想」が提示された。その後「市民会議」の成果として、同年8月に提言書が提出されている。議会としても27年3月、新庁舎建設の是非を含め調査を行う目的で「庁舎建設に関する調査特別委員会と小委員会」を設置。これまで、32回の委員会(小委員会含む)を開催し、市民会議の内容、長寿命化、増改築、新築、財源、将来負担等の調査検討や先進地視察を実施してきた。

### 建設位置

市民会議の提言では、①建設コストの抑制 ②利便性 ③現在の市街地を中心とする要素が挙げられている。  
建設位置については、「迫庁舎敷地」と「県北高速幹線道路(仮称)佐沼IC付近(佐沼高校第二グラウンド付近)」で議論されている。

### 新庁舎の機能

市民会議の提言では、①思いやりのある建物 ②登米市らしさ ③対応力向上プログラム ④防災機能充実の要素が挙げられた。また、執行部から図書館等との複合案が示された。委員会では、コンパクトな行政機能との意見

### 新庁舎の規模

市民会議の提言では ①効率的な設備 ②市民と職員のパフォーマンス向上 ③市民交流が盛んになる施設 ④人に優しい登米市らしさPRの要素が挙げられている。  
執行部からは、必要面積に市民活動や市民交流の活動拠点機能などの施設を加えることが示された。

委員会では、必要な機能を満たす最小限度の規模であるべきと意見が出されている。

### おわりに

調査においては、「現庁舎を長寿命化し分庁舎方式」と「次世代の財政負担とならないよう新庁舎建設」との意見が出ている。  
新庁舎建設は、財源として合併特例債を有効に活用できる期間に整備することが望ましいが、単なる建設事業にとどまらず、まちづくり、行政サービスのあり方など全体に及ぶ課題を抱えており、議論は複雑多岐である。

市民の理解を得るためには、その将来像を早期に示すよう働きかけ、市民の目線に立ち、心配不安に向き合い、より開かれた庁舎建設となるよう引き続き調査を行うことを確認している。

# 市政

# こころが聞ききたい

一般質問は、12月1日から3日間、16人の議員が登壇し、当面する市政の課題について活発な議論が行われました。  
 (紙面の都合により内容を要約してお知らせします)  
 ※ 議会ホームページで録画中継をご覧いただけます。

## 一般質問



野積みされたままの汚染牧草

### 問 放射能汚染廃棄物焼却について

### 答 説明会などを開催し対応していく

**問** 福島第一原発事故に伴う放射性物質に汚染された8000ベクレル以下の廃棄物の処理問題をめぐり、宮城県は全自治体が協力

**答** 灰が基準を上回ることはないよう、一般ごみと混ぜて廃棄物を焼却し、灰は最終処分場に埋め立てる方針を示した。市長は、この処理方法についてどのような考えを持っているのか。

**問** 市内の焼却施設および最終処分場において実施することになれば、市民皆さまの安全安心に

**答** する不安が大きくなる。この処理方法とは別に、各自治体において堆肥化やすき込みなど、独自処理することも可能とされている。本市独自に取り組める「すき込み」や「林地還元」などについて市民皆さまの理解をいたしながら積極的に取り組んでいく。

**問** 実施に当たっては、住民に十分に説明をし、安全であることを理解してもらおうべきと思うが。

**答** 実証実験を進める上でも説明会などを開催しながら対応していきたい。

**問** 高い植栽は伐採すべし

**答** 県道1号線古川佐沼線に車が出る時、車から見る目線が植栽で見通しが悪い。思い切って伐採すべきと思うが。

**問** 交差点や横断歩道付近の低木は低く刈り込み、一部の低木を除去または移植し、適切に植栽を維持管理していく。



相澤吉悦 議員

### 問 将来を見据えた新庁舎の建設は

### 答 市民活動の拠点と位置づけ推進



浅野 敬 議員

**問** コンバクトシティ・プラス・ネットワークの理念を重視して建設場所を考える時、A候補地が

**答** 望ましく、D候補地はそぐわないとの判断か。

**答** 市有地であるA候補地は事業費が抑えられ、現実的かつ効率的な候補地としての優位性がある。D候補地は市内外からの交通アクセスが良く、利便性で評価が高い。一方、市街地の低密度の拡散、商店街空洞化、用地取得

等の建設コスト増加など課題も多い。

**問** 新庁舎の規模・機能は将来人口なども考慮し、過大にすべきではない。

**答** 複合施設としては、図書館ではなく、市民協働の支援施設とすべきでは。

**問** 基本計画策定基礎調査業務として、専門的かつ技術的な視点で便益とコストの調査を委託している。この中で比較検討し、市民・議会との意見交換と議論を重ねながら、基本計画の策定に当る。

**問** 9つの旧町をつなぐネットワークを機能させるための方策は、新庁舎と市民病院とバスセンター(バスプール)を併設するのが最も効果的では。

**答** 現段階では、検討していない。

**問** 市民の理解が進む広報活動を積極的にすべき。

**答** 基本計画案をもとに、広報活動を積極的にを行う。

※ A候補地：迫庁舎敷地  
 D候補地：佐沼高校第二グラウンド付近



やがて建替時期の市民病院はどこに？

### 問 ヘルプカードの導入を

### 答 来年度からの導入に向け取り進む



熊谷和弘 議員

**問** ヘルプカードは、手助けが必要な人と手助けをする人を結ぶカードである。一では「手助けが必要な人」と分かり

**答** くい人が、周囲の配慮や手助けをお願いしやすくなる。現在、ヘルプカードを作成・配布する動きは全国に広がっている。携帯方法は、カードに入れて首から下げる、財布の中に入れる、バックのポケットに入れるなどである。本市においても導入すべきと考えるが。

### 防災士の養成

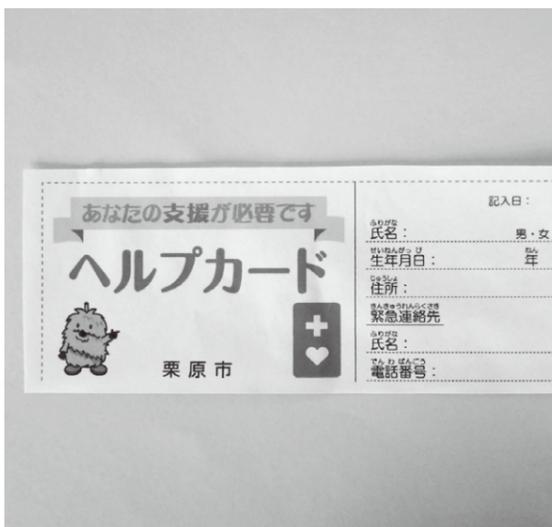
**問** 防災士とは、NPO法人「日本防災士機構」が認証する資格である。

**答** 28年10月31日現在、県内においては、仙台市や石巻市など9つの自治体で導入されている。ヘルプカードを導入することで、障がいを持つ方を含めた市民にとっても、さまざまな効果が期待できる。29年度からの導入に向けて取り組んでいく。

**問** 誕生のきっかけは、阪神・淡路大震災である。

**答** 28年10月31日現在、全国の認定登録者数は11万7560人に達している。本市においても養成に取り組むとともに、資格取得費用の助成制度を設けるべきと考えるが。

**問** 本市では自主防災組織のリーダーとして、県が取り組んでいる宮城県防災指導員の養成に重点を置いている。





ドッチボールで遊ぶ小学生（錦学童クラブ）

問 幼保連携こども園安全確保対策は

答 重要な視点で取り組む



伊藤 栄 議員

問 登米こども園の建設予定地は、小学校などの公共施設が多く最適地であるが、園児送迎の視点

で見れば進入路が多く、すぐ近くには排水路があり、保護者からは安全確保対策が求められている。また、こども園開設後の登米保育所の備品の取り扱いはどうするのか。

からの道路は幅員等の整備に取り組み計画である。排水路は、金網製ネットカバーをし、児童や園児を送迎する保護者に対して子どもものの行動に十分に注意いただくよう周知していく。

また、備品は登米こども園で引き続き利用いただくことも有効な活用方法であり、今後、設置事業者と協議を行っていく。



登米こども園の建設予定地（登米町寺池目子待井地区）

問 若者の地元定着をどう高めるか

答 重点戦略として取り組む



佐々木幸一 議員

問 卒業後の市内への就職者は、約20数%にしかならない。転出超過である。この数字をどう見る

か。

答 厳しい数字と捉えている。移住定住政策など、新たな政策を立案しながら取り組んでいる。

問 多くの市民から「市内に働く場がない」という声を聞くが、企業側からは「募集しても人が集まらない」と言われる。この雇用のミスマッチを

問 登米市勤労者互助会の創設を

答 早速、研究する



中澤 宏 議員

問 産業の振興無くして登米市の成長無し。本市の財政においてどこまで支援が可能なのか。

答 「既存企業の育成・企業誘致による工業の発展と雇用創出」を実現するため、拡充した奨励金制度を活用したい。28年度に完成予定である長沼第二工業団地への企業誘致を最優先に取り組むとともに、今回提言をいただいた産業振興会との意見交換会や他自治体の取

組状況の調査を行い、人材の確保と育成、企業投資環境の改善など、支援制度の拡充を検討する。

問 他の自治体では、市内の企業や小規模事業所に勤める全従業員が加入する「勤労者互助会」制度を創設し、加入者・企業負担が軽減されるよう市が運営・補助している。慶弔・見舞金給付事業や検診・旅行などの福利厚生事業の充実に入力を入れ、楽しく働く、楽しく暮らす支援を行っている



年度内に完成する長沼第二工業団地（迫町北方大洞地区）

問 どうなる小・中学校の再編

答 各学年2クラス以上の学校規模に



工藤 淳子 議員

問 小・中学校の再編が計画されているが、具体的にどう検討しているのか。

答 原則として小・中学校ともに、各学年2クラス以上の編成となるような学校規模を目指している。28年1月から小・中学校の保護者を対象に、基本的な学校再編についての考え方を示し、一定の理解をいただいている。

問 津山町域では4回の座談会が開かれているが、

どういう意見が出され、どう受け止めているのか。



佐沼小学校と統合した旧森小学校（現 森公民館）

**問** 4月の市長・市議選を前に、市民の関心事は市長の4選出馬の意志である。4選出馬するののか。



氏家英人 議員

**問** 4期目の市長選挙に出馬するのか  
**答** 引き続き市政運営に取り組みたい

**答** 「第二次登米市総合計画」に掲げた登米市の目指す姿と進むべき道筋を市民の皆さまと共有しながら、10年後の未来を見据えたまちづくりを目指したいと考えている。引き続き全身全霊で職務に取り組みたい。



28年に開設された「きらり保育園かがの」

**問** 放射性汚染廃棄物（8000ベクレル以下）の処理は焼却によらず、他の方法を考えるべきでは。



佐藤恵喜 議員

**問** 放射性汚染廃棄物は焼却するな  
**答** 焼却ではない方法で取り組む

**答** 先ずは、汚染廃棄物の内、75%を占める400ベクレル以下のものについては焼却によらず、すき込みや林地還元などで減量化に取り組む。  
**問** 焼却炉のバグフィルタを、放射性セシウムがくぐり抜けることを知っているのか。  
**答** 環境省の調査では放射性物質除去率は99.9%

**問** 子どもの減少で児童生徒数一桁の学年やクラス替えのできない学校が増えてきている。学校統



田口政信 議員

**問** 学校統合をどう進める  
**答** 平成37年を目安に再編していく

**答** 子どもの減少で児童生徒数一桁の学年やクラス替えのできない学校が増えてきている。学校統合の考え方は、旧町域を越えた学校統合の考え方は、小学校は、身体的な発達や通学時間を考慮し

**問** 市内には老朽化し時代に残り残されているような公衆トイレがある。

**改修すべき公衆トイレについて**

**答** 現在、長沼ポート場にクラブハウスの整備を進めている。今後は、ポート競技をはじめ、各種スポーツ合宿などを受け入れたい。

**東京五輪競技会場変更問題を前向きに捉えよう**  
**問** 変更案により上った「長沼」「登米市」の知名度を活かすべきでは。  
**答** 現在、長沼ポート場にクラブハウスの整備を進めている。今後は、ポート競技をはじめ、各種スポーツ合宿などを受け入れたい。

例えば津島神社に隣接しているトイレの利用者は七五三や元朝詣り、どんと祭や夏祭りなど、日本の伝統的な行事に関係する市民が多い。時代に合った多目的トイレへの改修、更新の必要性を感じているがどうか。  
**答** 市内にある公衆トイレの中でも津島神社に隣接するトイレはさまざまな行事に利用されている。老朽化も著しいことからしっかりとした整備が必要だと考えている。

**問** 産婦人科医の招聘に少しこれまでもどのように取り組んできたか。  
**答** 東北大学からは常勤



日下 俊 議員

**問** 市民満足度向上策は実行されたか  
**答** 満足度調査を踏まえ実施してきた

産婦人科医の招聘に少しこれまでもどのように取り組んできたか。  
**答** 東北大学からは常勤5名を確保しなければ医局からの医師の派遣は難しいといわれている。  
**問** 市民満足度調査では「医療の充実が不足」とあるが、どこが不足と認識しているのか。  
**答** 市民は3次救急並みの医療体制を求めていると思うが、一病院で全ての病気を完結できないと

**問** 子実用トウモロコシの生産は、JA加美よつばの試験栽培が注目されている。本市でも取り組むべきではないか。

**子実用トウモロコシ生産実証事業を**

**問** 子実用トウモロコシの生産は、JA加美よつばの試験栽培が注目されている。本市でも取り組むべきではないか。  
**答** 国が説明責任を負うべきと考えるが、国が説明責任を負うものであると考えている。

**問** 特別な処理方法をとることも承知しているが、これについての異論があることは承知している。  
**問** どんな処理方法をとるにしても、住民の理解を得る上で国が責任を負うべきと考えるが。  
**答** 国が説明責任を負うべきと考えるが、国が説明責任を負うものであると考えている。

**問** 特別養護老人ホームの入所が「要介護3以上」となったが、待機者数に変化はあるのか。  
**答** 28年7月末での待機者は348人と昨年よりも80人減った。入所条件が変わったことによる影響が大きい。門前払いはないと考えている。29年度に「在宅介護実態調査」を実施予定である。

**問** 国の動向などを見ながら検討する。  
**特養待機者の現状は**



小池知事が来市するなど知名度が上がった長沼ポート場

2クラスにならなくとも町域を越えた再編は考えていない。中学校は、各学年2クラス以上になる教育環境の整備をする。  
**問** 統合と小中一貫の方向性は。  
**答** 原則各学年2クラス以上が適正規模と考えており、各学年1クラスの中学校を旧町域に残すために小中一貫校にすることは、生徒の発達段階や学校運営の観点から望ましくないと考えている。

**人口減少社会、移住・定住施策をどう進める**  
**問** 移住・定住人口増加の具体的手法は。  
**答** 移住生活のウェブ情報など作成し、首都圏で開催の移住フェアやホームページを活用し、全国発信していきたい。  
**問** 知名度アップの長沼・登米市をどう生かす。  
**答** ログマークやキャッチコピーを作成し、登米市の象徴として生かしていく。



処理が急がれる野積みの汚染牧草



大量発生しているヤスデ (迫町北方地区)

**問** 人口が増加し続ける佐賀県鳥栖市。要因は、200社超の企業誘致。サッカーをまちのシンボ



関 孝 議員

ルとして、市民の心の一体化。「ふるさとを愛し、誇りを持つ子どもの育成」を目指し、文科省の教育課程特例制度を活用した、教科「日本語」を導入した政策にある。本市でも、礼儀作法や伝統文化を学び、登米っ子の郷土愛を育み、将来を担う人材育成のため

**問** 教科「日本語」導入の検討を  
**答** これまでの教育をより充実させる

**問** 4期目を指す、市長独自の教育政策は。  
**答** 「誇りを持って自分

に、独自教育として導入を検討してはどうか。  
**答** 豊かな日本語を身につけ、郷土愛を育むことは大変重要である。教育特例制度の導入も一つの

方法であるが、本市では、これまでの教育をより充実させる中で、将来ふるさとに貢献したいという思いを育てるような教育に努めていく。

**問** 害虫「ヤスデ」の駆除を  
**答** 市内の一部地域で大量発生し、市民生活に影響を及ぼしている。発生区域が拡大していることから対策を講じるべきである。

**問** 26年頃から迫町、南方町、津山町の一部地域で大量発生し、市民生活に影響を及ぼしている。発生区域が拡大していることから対策を講じるべきである。  
**答** 26年頃から迫町、南方町、津山町の一部地域で大量発生し、市民生活に影響を及ぼしている。発生原因等を調査するとともに、対策予算の計上も考慮し検討していく。

**問** 職員の時間外労働に偏りがある。業務量と職員数についてどう把握しているのか。



二階堂一男 議員

**問** 職員の勤務時間は出

**答** 毎年度、全組織を対象に業務量を把握し部署ごとに人数を決めている。所属長には適切な業務量の把握と、特定の職員に業務の偏りがないよう応援体制を整えるなど、時間外勤務の縮減と適正な勤務時間の管理を指導する。

**問** 業務量に合った職員配置を  
**答** 適切な勤務時間の管理を徹底する

**問** 勤時から退庁までと思う。実際の退庁時間を記録した整理簿を基に時間外勤務時間を算定すべきでは。  
**答** 管理上、時間外退庁時間を記した整理簿を備えつけているが、それイコール時間外勤務なのか疑義がある。翌日所属長がその内容と業務の状況等について確認するというのが現状である。

**問** 「農山漁村再生可能エネルギー法」の積極的活用で、農家所得向上に向け取り組んではどうか。  
**答** この法に基づき再生可能エネルギー発電事業の実施は、再生利用困難な荒廃農地や今後、耕作見込みがない農地とされており、優良農地が広がる本市では事業実施は困難と考える。

**再工ネ発電事業で農業収益増を**

**その他の質問**  
・国保の運営主体移管で保険料はどうなる。



農地転用で設置された太陽光発電



ボランティア養成講座

**問** 平均寿命を10年後までに県内平均以上にする計画はどう進めるのか見えない。医師会や歯科医



佐藤尚哉 議員

**問** スポーツ、ボランティア団体との関わりは。  
**答** スポーツを通じ健康

**問** 食生活改善推進員による地区伝達講習などで、バランスの良い食の啓発。また、野菜摂取アップのため、市内産野菜

**問** 食生活改善推進員による地区伝達講習などで、バランスの良い食の啓発。また、野菜摂取アップのため、市内産野菜

**問** 予防接種効果は5カ月程度で毎年行うため、助成の対象にはしていない。予防対策の啓発を推進したい。

**問** 市民とともに健康寿命延伸を  
**答** 関係機関、団体と連携して

師会との協体制は。

**問** 「アクティブラーニング」で大切なことは教員の「指導力」である。

**問** 先生方は慣れていない部分がある。学習指導要領の改訂で研修の充実が図られてくると考える。

**問** 先生方は慣れていない部分がある。学習指導要領の改訂で研修の充実が図られてくると考える。

**問** 先生方は慣れていない部分がある。学習指導要領の改訂で研修の充実が図られてくると考える。

**問** 先生方は慣れていない部分がある。学習指導要領の改訂で研修の充実が図られてくると考える。

**問** 横浜いじめ事件のように「いじめ」に対しては消極姿勢、過少評価が行われている。「いじめ



伊藤吉浩 議員

**問** 学力向上には「授業評価」が必要

**問** これまでの学校教育の反省点として挙げられない。これから改善していかねばならない。中学生では80%の生徒が「勉強の仕方が分らない」というデータがある。本市の取り組みは。

**問** 「アクティブラーニング」で大切なことは教員の「指導力」である。

**問** 先生方は慣れていない部分がある。学習指導要領の改訂で研修の充実が図られてくると考える。

**問** 先生方は慣れていない部分がある。学習指導要領の改訂で研修の充実が図られてくると考える。

**問** 窓口のような「信頼の見える化」が大切では。  
**答** 可能な限り子供たちのいじめ事案は見逃さない体制で万全を尽したい。  
**問** 学力向上のためには児童生徒による「授業評価」を学期ごとに行い教員指導力向上につなげる取り組みが必要と考えるが。

**問** これまでの学校教育の反省点として挙げられない。これから改善していかねばならない。中学生では80%の生徒が「勉強の仕方が分らない」というデータがある。本市の取り組みは。

**問** 「アクティブラーニング」で大切なことは教員の「指導力」である。

**問** 先生方は慣れていない部分がある。学習指導要領の改訂で研修の充実が図られてくると考える。

**問** 先生方は慣れていない部分がある。学習指導要領の改訂で研修の充実が図られてくると考える。

**問** 学力向上には「授業評価」が必要  
**答** これから改善していきたい



授業風景 (米山東小学校)

# あなたの声 市民メッセージ わたしの提言

ご意見等をお寄せいただきましたので、ご紹介します。

## 日頃感じていること



あおやまたつろう  
青山達朗さん  
(東和)

私は米谷郵便局に勤務しています。郵便局は、昨年10月24日、国道沿いに新築移転しました。大通りに面した場所のため、お客さまの利便性が増したと感じています。

現在、米谷地区は街並みが所々欠けた状態となり、寂しい感じがします。少子高齢化や過疎化の波の到来などあるわけですが、仕事を通して貢献したいと考えています。

また、米谷地区の住民でもあります。町内会役員として活動しています。町内会も会員の高齢化、会員数の減少などの変化があります。日頃のあいさつ、ちょっとした声掛け、見守り（変わりがなにか気を付ける）などがさらに大切になると思います。

## 伝統文化の継承を

仙台から石越に戻り、早いものでもうすぐ3年になります。何か地域に貢献できたらと思います。11月より有志で近所の遠流志別石神社の清掃奉仕をさせていただいております。この神社は石越の地名の由来にもなっているのに、管理の方だけでは手が足りないようです。町内の五十瀬神社も、同じような状況だと聞いています。

幸いにも最近、偶然職場でお客さまより五十瀬神社の再興に向けて、まずは市の文化財として指定を受けるために動き出すとの言葉をいただきました。このまま手をこまねいてさらに荒廃が進んでしまう前に「何とかしないといけない」と思っていたところでした。

時代は移り変わっても、神仏を敬う心は地域の皆さんで大切にしていきたいと感じているこの頃です。



もんまりえ  
門馬理恵さん  
(石越)

## よりよい登米市へ



せき さやかさん  
(南方)

私は卒業後、仙台に就職をし結婚・出産を機に生まれ育った南方に戻ってきました。現在は仕事をしながら、小学6年生、4年生、幼稚園の子どもの子育て真っ最中です。登米市は「住みやすく安心して子育てができるまち」だと思っています。最近では、小児科も増え親としてはとても助かります。しかしその中で、待機児童がいることが登米市の課題だとも思っています。私が現在、仕事を続けていられるのは、両親にいつも手助けをもらえるからで、私と夫は両親に感謝の気持ちでいっぱいです。

私のように3世代一緒に暮らしている人ばかりではなく、核家族も増えている今、仕事をしたくても子どもを預けられず、安心して働くことが出来ない人がいるので、一人でも多くの人が働ける市にしてほしいと願います。

## 議会の動き

- 10月
  - 4日 庁舎建設に関する調査特別委員会小委員会行政視察（～5日）
  - 11日 全員協議会
  - 15日 議会運営委員会
  - 17日 広報広聴委員会
  - 17日 全員協議会
  - 20日 広報広聴委員会
  - 21日 庁舎建設に関する調査特別委員会小委員会
  - 24日 教育民生常任委員会
  - 25日 栃木県真岡市議会行政視察来庁
  - 25日 第7回登米市議会、栗原市議会、一関市議会議員交流会
  - 26日 岩手県住田町議会行政視察来庁
  - 28日 広報広聴委員会
  - 28日 産業建設常任委員会
  - 31日 総務企画常任委員会
  - 31日 宮城県南三陸町議会行政視察来庁
  - 31日 愛知県東海市議会行政視察来庁
- 11月
  - 2日 広報広聴委員会
  - 4日 教育民生常任委員会
  - 4日 産業建設常任委員会
  - 7日 産業建設常任委員会
  - 7日 北海道小樽市議会行政視察来庁
  - 8日 議会運営委員会行政視察（～9日）
  - 14日 産業建設常任委員会
  - 15日 総務企画常任委員会
  - 15日 群馬県板倉町議会行政視察来庁
  - 16日 福島第一原発事故放射能汚染対策特別委員会
  - 16日 産業建設常任委員会
  - 17日 徳島県鳴門市議会行政視察来庁
  - 17日 全員協議会
  - 18日 庁舎建設に関する調査特別委員会小委員会
  - 18日 総務企画常任委員会
  - 21日 議会改革推進会議行政視察（～22日）
  - 24日 産業建設常任委員会
  - 24日 福島第一原発事故放射能汚染対策特別委員会
  - 25日 議会運営委員会
  - 30日 庁舎建設に関する調査特別委員会小委員会
- 12月
  - 1日 各常任委員会
  - 2日 広報広聴委員会
  - 5日 庁舎建設に関する調査特別委員会
  - 6日 各常任委員会
  - 7日 各常任委員会
  - 8日 福島第一原発事故放射能汚染対策特別委員会
  - 8日 産業建設常任委員会
  - 9日 議会運営委員会
  - 9日 総務企画常任委員会
  - 12日 政策企画調整会議
  - 12日 庁舎建設に関する調査特別委員会小委員会
  - 13日 議会改革推進会議
  - 13日 庁舎建設に関する調査特別委員会
  - 13日 全員協議会
  - 14日 総務企画常任委員会
  - 27日 広報広聴委員会

## 問 平筒沼整備運営構想を作成せよ



浅田 修 議員

## 答 代表する観光公園と位置付け整備

問 平筒沼・いこいの森は自然をロケーションとした観光交流、四季折々の中での健康づくりなど

市民に活用されている総合施設である。ビジョンを作成し将来的な公園のあり方を示せ。

答 観光や交流機能の拠点として位置付け、施設の安全性や利便性を確保し、更なる誘客を図るため、必要な改修を計画的に実施していく。

## 陸上競技場について

問 本事業の基本構想、基本計画、実施計画が未だ示されていないが、

答 しつかりとした対応を教育委員会と連携しながら取り組みを進める。

問 公認陸上競技場建設の基本構想は、

答 トラックは一周400メートルの全天候型舗装8レーン、インフィールドは天然芝、附帯設備は必要

最小限とした第4種公認陸上競技場の整備を目指していく。

整備候補地は中田総合体育館周辺と佐沼高等学校第2グラウンド付近の2カ所に絞り、基本計画策定に合わせ、整備地を決定していく。

問 整備スケジュールは、

答 29年度に基本計画の策定、30年度に用地買収及び実施設計を行う。



観光公園としての整備が待たれる平筒沼



## 1月招集議会

市長の招集により、1月13日に招集議会が開催されました。

招集議会では、平成29年定例会の会期を1月13日から4月28日（任期満了）までの106日間に決定しました。

なお、改選後の初議会において、改めて会期を決定することになります。

## 議員研修会

1月13日、消防防災センターにおいて、議員研修会を開催しました。

講師には、宮城県経済商工観光部富県宮城推進室の小野寺邦貢室長を招き「富県宮城の実現に向けて」と題し、講演をいただきました。

「富県宮城の実現」に向けたこれまでの成果と、宮城県の将来ビジョンについて理解を深めることができました。

また、質疑では本市の今後の取り組みむべき方向性などについて説明をいただき、大変参考になりました。

**平成29年4月23日(日)**は市議会議員一般選挙および市長選挙です。  
みなさん投票しましょう。

## 議会からのお知らせ

### 2月定期議会

2月2日(木) 開会予定

## 傍聴してみませんか。

本会議は、簡単な手続き（氏名等の記入）で、個人でも団体でも自由に傍聴することができます。お気軽においでください。

詳しい議会日程は、議会ホームページや議会事務局にお問い合わせください。

## 議会のホームページを開設しています。

登米市議会 検索

議会のホームページでは、議会の情報をお知らせしています。

<http://www.city.tome.miyagi.jp/gikai/gikai-index.html>

## あとがき

昨年10月からほぼ一カ月間、2020東京五輪ポート・カヌー競技場の候補地となり、国内外に「ナガヌマ」の情報が発信されました。

この機会に、メジャーを指して整備をしなければならぬと強く感じました。

さて9月には、5年に一度の和牛のオリンピック（全国和牛能力共進会）が宮城県で開催されます。前回の長崎大会でも登米産牛が好成績を納めましたので、市民の期

待は、各種目で金メダルを獲得することです。そして、夢と消えた長沼ブランドを、もう一度、国内外に発信できればと思うものです。  
(伊藤 栄)

### 広報広聴委員会

委員長 佐藤 尚哉  
副委員長 氏家 英人  
委員 熊谷 和弘  
日下 俊

佐々木幸一

工藤 淳子

伊藤 栄

二階堂一男

八木しみ子

議長 沼倉 利光